

2025 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 g u m i  
代 表 者 名 代表取締役社長 川 本 寛 之  
(コード番号: 3903 東証プライム市場)  
問 合 せ 先 取 締 役 本 吉 誠  
( TEL. 03-5358-5322)

## 米国 AI スタートアップへの出資に関するお知らせ

当社は、当社子会社である gumi America, Inc.において、AI を活用した市場調査・意思決定支援基盤を開発する米国の AI スタートアップ企業 Expected Parrot, Inc. (以下「Expected Parrot」) に対して、出資が完了したのでお知らせいたします。

記



### 1. 出資の背景・目的

当社は、AI 技術の進展により、あらゆる産業において構造的な変革が起こりつつあると認識しております。AI 技術の社会実装は、企業の生産性向上や新たな価値創造の鍵であり、今後の企業活動においてその重要性が格段に高まると考えております。本出資を通じて、当社は AI 領域における知見の獲得および将来的な事業機会の検討につなげるとともに、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

### 2. 投資先の概要

Expected Parrot は、従来、人手により実施されてきた市場調査や顧客調査について、AI エージェントを中核とした市場調査シミュレーション・プラットフォームを提供しております。

同社が提供する「AI エージェント」は、特定の性格や選好を持つ仮想の顧客（デジタルモニター）として自律的に振る舞うことが可能であり、従来の質問応答型 AI とは異なるアプローチを採用しています。これらの AI エージェントを活用することで、企業は以下の特長とメリットを享受できます。

- ・ 圧倒的な時間とコストの圧縮：従来、数週間という長い時間と多額の費用を要した数千人規模の消費者アンケートを、AI エージェントを活用することで、わずか数分かつ低コストで完結させることが可能です。
- ・ 「失敗」のシミュレーション：実際の顧客に対しては実施困難な「大胆な価格設定」や「尖った広告表現」などのテストを、デジタル空間上でリスクなく何度でも試行し、最適な戦略を導き出すことができます。
- ・ 希少なターゲット層の再現：現実世界では集めることが難しいニッチな条件(特定の趣味や購買履歴を持つ層など)の顧客ペルソナも即座に生成し、深層インタビューを行うことが可能です。

これらのシミュレーションを可能にする同社のプラットフォーム上では、企業が顧客ペルソナとして設計した AI エージェントを用いて、価格設定、製品仕様、マーケティング施策、コミュニケーション内容等に関するインタビューやアンケートを、任意の大規模言語モデル (LLM) を用いて実施することが可能です。同社のプラットフォームは、調査条件および結果が保存・再現可能な設計となっており、検証性を重視した構成となっています。また、同一の調査を実際の人間に対して実施し、AI によ



る結果との比較・検証を行うことも可能であり、ハルシネーション（AI による誤回答）等のリスクを管理しつつ、信頼性の高い「合成データ」を活用した意思決定プロセスへの実装を想定した設計がなされています。

同社は、Airbnb 社や Stripe 社等を輩出した世界屈指のスタートアップアクセラレーター「Y Combinator」の最新バッチ（Fall 2025）採択企業です。Expected Parrot の創業メンバーには、MIT スローン経営大学院の終身教授であり、AI と経済学の分野において高い研究実績を有する John Horton 氏（CTO）が参画しており、同氏は Anthropic 社などの主要 AI 企業における経済分野のアドバイザーにも関与しています。また、Robin Horton 氏（CEO）は、Uber 社の法務データ部門における実務経験を通じて、厳格なデータ管理と規制対応への深い知見を有しています。同氏は、AI 活用時のハルシネーション（誤回答）リスクを懸念するコンプライアンスを重視する顧客に対し、適切なリスク管理と検証プロセスを組み込んだ事業基盤の構築を主導しています。

#### 会社概要

名称	Expected Parrot, Inc.
所在地	米国 マサチューセッツ州 ケンブリッジ市
代表者	CEO Robin Horton
事業内容	AI エージェントを活用した市場調査シミュレーション基盤の開発・提供
URL	<a href="https://www.expectedparrot.com/">https://www.expectedparrot.com/</a>

以 上